

## 2. 学生の学びとその軌跡

### 2) 卒業生の追跡調査から

津 村 俊 充（南山短期大学助教授）

本学（南山短期大学）に、人間関係科が創設されてからもう12年が経過し、来春には13期生を迎えることになる。創設当初から、既設の四年生大学の人間関係学科の授業内容とは異なり、「体験学習」を学習の主たる方法として取り入れ、『諸々の個別的経験科学からの人間関係へのアプローチを水平的に、統合するばかりでなく、垂直的に、哲学的に、宗教的な確固たる人間観の深い基礎をもつものとする。学科の性質からいって特に大切な理論と実践との統合を計る』\*学科を目指してきている。それに向けて、学生と共にスタッフ（教員及び職員を含めて我々は人間関係科の教育をサポートする人々をそのように呼んでいる）は、試行錯誤的に教育実践を繰り返してきている。

具体的な授業実践として教員により学習者である学生のニーズは何か討議され、授業の「ねらい」はどのようなものが適切か討議されてプログラムは組まれている（学生も含め授業について話し合われることもあるが、学習者中心の教育を考えるなら、これらの話し合いも教員と学生と共に討議される機会を多く持つことが望ましいと思われる）。そして、授業後の「ふりかえり」では学生のプログラムへの反応はどうであったか、授業前に立てた「ねらい」は達成されたか、等が担当教員間で議論され、次回へのプログラムの計画・実践へと展開されていくのである。こうした授業の試みがなされるのは学生自身の体験を大切に、学ぶことがまさに自らの生きることに直接影響を与えうるような授業展開を教員が常に考えているからである。そこでは自らの人間観を確立したり、また他者及び集団（組織）との関係のありようを検討し、それらへの変革へ向けてのスキルや態度を身につけていくことが期待されている。

本報告の資料分析のための計算は、名古屋大学大型計算機センターのFACOM-M382を利用した。

\* 大庭征露「人間関係科創立当初をかえりみて」南山短期大学15年史より

この新しい教育の試みが、果たして学生たちにどのように受けとめられ、また学生たちにどのような影響を与えているのであろうか。人間関係科で学習したことが学生たちにとって着実に彼らの学びになっているのであろうか。こうした疑問は教育に携わる者であれば、誰しも考えることであろう。実際、学内での数々の学生との面接を通してこのことは話し合われている。また、卒業後大学にやってくる卒業生から社会に出てみて人間関係科での教育がどのように生かされ、影響しているかを聞く機会はあるもののそれには限りがあるように思われる。

そこで、本報告は卒業生全員に質問紙調査を実施し、人間関係科卒業生が卒業後どのような生活を送っているかの実態を知ることとをまず第一の目的とし、さらには人間関係科在学時にどのような経験をし、その経験が今はどのように受けとめられているかを調べてみようということで行なわれたものである。

本報告は、第一報として卒業生の職場と日常生活の概観と入学から卒業に至るまでの経験の変化についての2つからなる。報告の主たる関心は、入学から卒業までの人間関係科へのコミットの仕方についてどのような変化があるのか、また入学から卒業までの経験がどのように受けとめられているのか等を卒業生の反応パターンを分類することにより、1期生から8期生までの変化を追ってみることである。

ここで報告するのは、私と会沢先生とが、9期生の各論「教育」を担当している時に、学生と協同で調査研究したデータの一部を再分析したものである。なお、各調査項目の単純集計については付表として記載している。

#### 調査方法

郵送による記名式調査

#### 調査対象

8期生までの卒業生全員(799名)

#### 有効回数

表1. 調査数と有効回収数・有効回収率

期 生	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
調査数	93	79	132	99	102	95	101	98	799
回収数	19	19	40	20	35	33	25	33	226
回収率	20.4	24.1	30.3	20.2	34.3	34.7	24.8	33.7	28.3

#### 調査実施期間

昭和57年8月1日～9月30日

### 1 職場と日常生活の概観

ここでは、人間関係科を卒業し、職場に出てからの様子や日常生活への満足度などを概観する。

#### 1) 勤務年数

現在の卒業生の就業状況は表2.に示している。4期生において半数ずつが

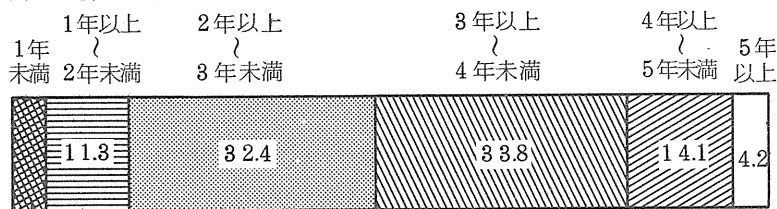
1.勤めている, 2.勤めていないと答えている。また, 1期生から3期生までの就業数は45.3%である。さらに, 勤めている割合が極端に異なるのが5期生と6期生との間である(5期生に, 62.9%, 6期生では, 9.1%となっている)。このことは就職してから3年間ぐらひは勤務に就いているが, 3年後には半数近くの人がやめていっていることが推測される。

表2. 現在あなたは勤めていますか

期生 項目	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
1. 勤めている	6 (31.6)	2 (10.5)	16 (41.0)	11 (50.0)	22 (62.9)	30 (90.9)	23 (92.0)	29 (87.9)	139 (61.8)
2. 勤めていない	13 (68.4)	17 (89.5)	23 (59.0)	11 (50.0)	13 (37.1)	3 (9.1)	2 (8.0)	4 (12.1)	86 (38.2)

( )内は%

そこで, 卒業時に就職した人たちが実際に3年後にやめていっているかみるために, 現在勤めていない人でかつて就職し, いつ頃職場を離れたかを尋ねた「問い14.何年勤めましたか?」の結果を見てみることにする。図1.に示されるように, 勤務年数が2年~3年で退職が32.4%, 3年~4年で退職が33.8%で著しく多く, 両者を合わせると65.2%になり, 3人に2人が3年間か4年間の勤務で職場を離れていることになる。



4.2 図1. 何年勤めましたか

図中の数字は%

また, 「現在の勤め先に就職されてから何年になりますか?」と実際に勤務年数を尋ねると, 以下の表3.に示す結果になる。それによると, 8期生は1年未満, 7期生は1年以上2年未満といったように, 対角要素の値が大きくなっており, 対角要素の総数は全体の73.2%である。すなわち, 多くの人は卒業時に就いた仕事を続けていることになる。

表3. 現在の勤め先に就職されて何年になりますか

期生 項目	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
1. 1年未満	3	0	1	2	5	6	1	29	47 (34.1)
2. 1年以上2年未満	0	1	3	0	1	3	22	0	30 (21.7)
3. 2年以上3年未満	1	0	0	1	2	20	0	0	24 (17.4)
4. 3年以上4年未満	0	0	0	0	14	0	0	0	14 (10.1)
5. 4年以上5年未満	0	0	3	6	0	0	0	0	9 (6.5)
6. 5年以上6年未満	1	0	9	2	0	0	0	0	12 (8.7)
7. 6年以上7年未満	0	1	0	0	0	0	0	0	1 (0.7)
8. 7年以上	1	0	0	0	0	0	0	0	1 (0.7)

( )内は%

2) 仕事に対する満足度

仕事に対する満足度については以下の図2.のようになっている。非常に満足を感じている人は全体の7.9% (11人)であり、かなり少なく、やや満足組が60.4% (84人)で一番多くなっている。続いて、あまり満足していない人が28.8% (40人)である。全く満足していない人はわずか4人であるが、いずれも6, 7, 8期生であった。(付表参照)

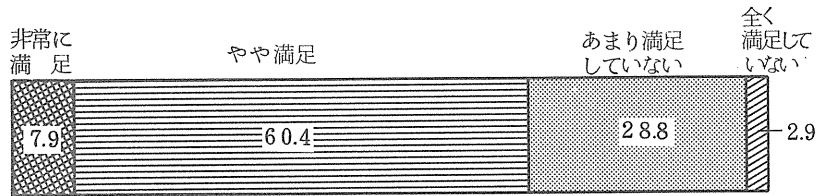


図2. 今の仕事に満足していますか

また、過去に仕事をやめたいと思ったことがあるかどうかについては、図3.に示している。やめたいと思うことがよくある人が16.7% (23人)であり、ときどきある人の60.8% (84人)を合わせると、77.5%になり、4人に3人の割合で職場を離れたいと思う経験をしているようである。

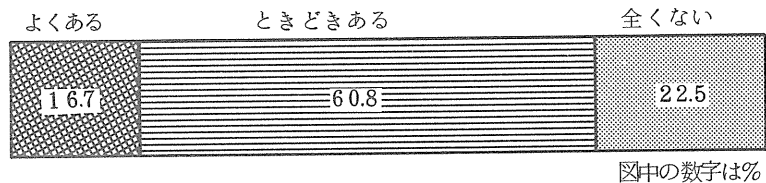


図3. 仕事をやめたいと思ったことがありますか

そして、今の職場をどれくらいつづけたいかの問いには、次の図4.のように答えている。全体では結婚するまで続けたいと考えている人が41.3% (57人)で一番多く、次いで出産まで続けたいと答えた人が16.7% (23人)であった。また、ずっと続けたいと考えている人は13.0% (18人)という割合であった。

特に、結婚までと答えているのは圧倒的に5, 6, 7期生に多く見られた。一方、すぐにやめたいと答えた人は10人いるが、そのうち6, 7, 8期生が8人を占めている。(付表参照) 比較的勤務年数の短い人にそのような気持ちが生じ、そのその人たちは勤務年数の経過とともに退職していくことになるの

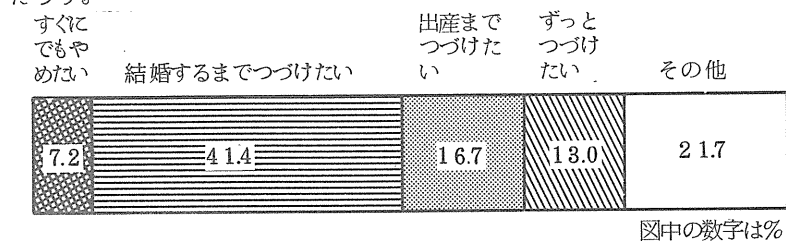


図4. これから、今の職場をどれくらいつづけたいですか

3) 収入について

収入についての結果は以下の表4.に示されている。一番の多い収入額は10～12万円の39.0%(53人)であり、次いで12～14万円の36.0%(49人)である。この二つを合わせると、76.0%の人が10～14万円の収入枠に入り、また卒業年次と収入とは比較的關係が低くそうである。

表4. あなた個人の勤め先からの収入は、税込み月額ですか。

項目 \ 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
1. 10万円以上	2	1	1	1	2	6	3	1	17 (12.5)
2. 10万円以上 12万円未満	0	0	3	4	6	11	11	13	53 (39.0)
3. 12万円以上 14万円未満	3	1	6	3	9	8	9	10	49 (36.0)
4. 14万円以上 16万円未満	1	0	2	1	4	4	0	0	12 (8.8)
5. 16万円以上	0	0	4	1	0	0	0	0	5 (3.7)

( )内は%

4) 日常生活について

結婚しているかどうかについては、以下の表5.に示すとおりである。

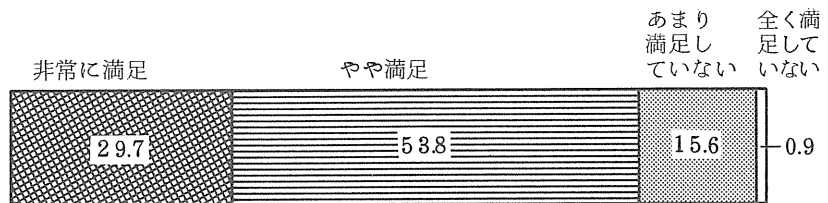
1, 2, 3期生は70%以上が結婚しており、4, 5期生が30～50%ぐらいが結婚しており、6, 7, 8期生はほとんどが結婚していない。(これはあくまで、調査時点昭和57年8月のことである。)

表5. 現在結婚されていますか

項目 \ 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
1. は い	18	16	29	12	11	3	1	0	90 (39.8)
2. い い .え	1	3	11	10	24	30	24	33	136 (60.2)

( )内は%

そして、「今の家庭での生活は満足していますか?」には、既婚・未婚を問わず集計すると、図5.のような結果になる。非常に満足とやや満足を合わせると83.5%とかなり高い割合だが、一方満足していない人が16.5%であり、少し気になるところである。



図中の数字は%

図5. 今の家庭での生活に満足していますか

## Ⅱ 人間関係科在学時の学習経験の年次による変化

ここでは、人間関係科に入学時、在学時、卒業時の経験に対する反応パターンを分類し、1期生から8期生までの特徴を探ろうとする。

方法 分析に用いる項目は以下の8つの問いに対する反応であり、その単純集計結果を図6～図13に図示している。

- 問い3 0. 南山短期大学卒業生だと意識したことがありますか？
- 問い3 2. 人間関係科卒業生だと意識したことがありますか？
- 問い3 4. 人間関係科卒業生でよかったと思うことはありますか？
- 問い4 0. 人間関係科に入学して最初どのように思われましたか？
- 問い4 1. 人間関係科とは何かをわかりはじめたのは、いつ頃ですか？
- 問い4 2. 人間関係科生としての自覚を持ちはじめたのは、いつ頃ですか？
- 問い4 3. 人間関係科時代、2年間の授業を通じて、あなたは人間関係科の学習に興味をもってとりくめましたか？
- 問い4 4. 卒業するとき、どんな感じをもたれましたか？

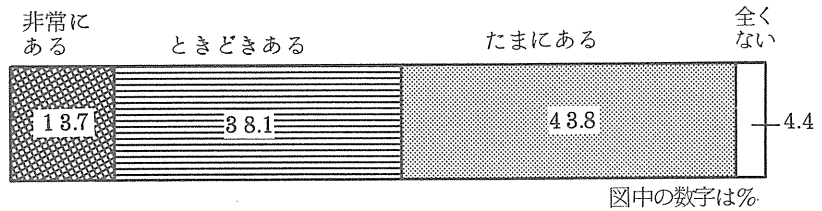


図6. 南山短期大学卒業生だと意識したことがありますか

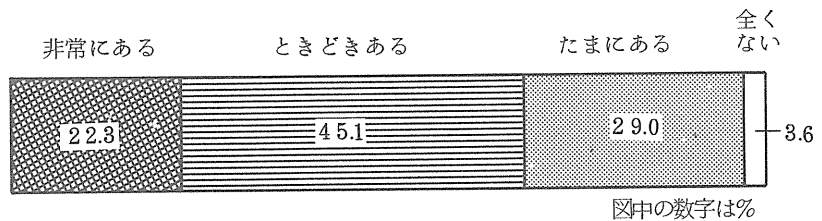


図7. 人間関係科卒業生だと意識したことがありますか

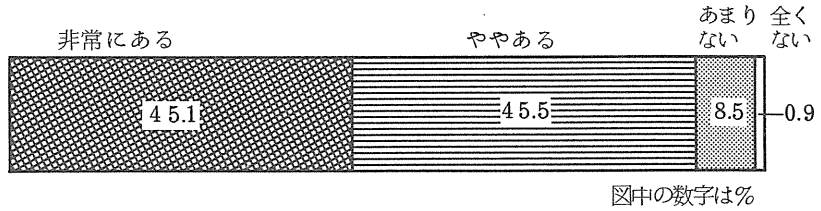


図 8. 人間関係科卒業でよかったと思うことはありますか

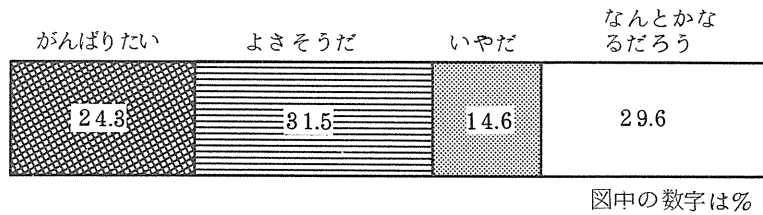


図 9. 人間関係に入学して最初どのように思われましたか

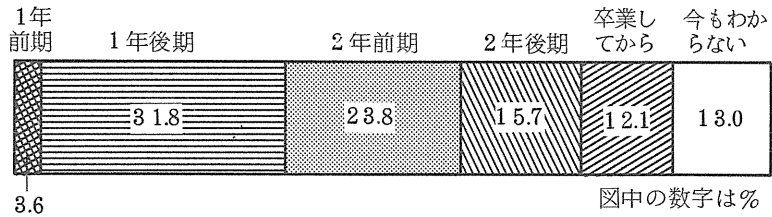


図 10. 人間関係科とは何かわかりはじめたのはいつ頃ですか

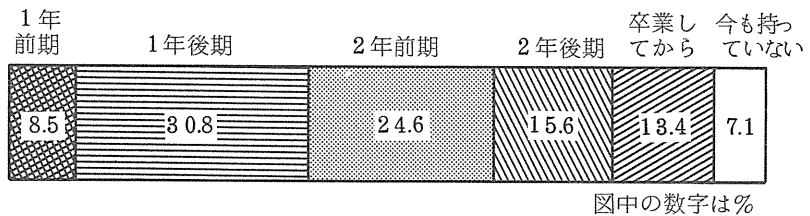


図 11. 人間関係科生としての自覚を持ちはじめたのはいつ頃ですか

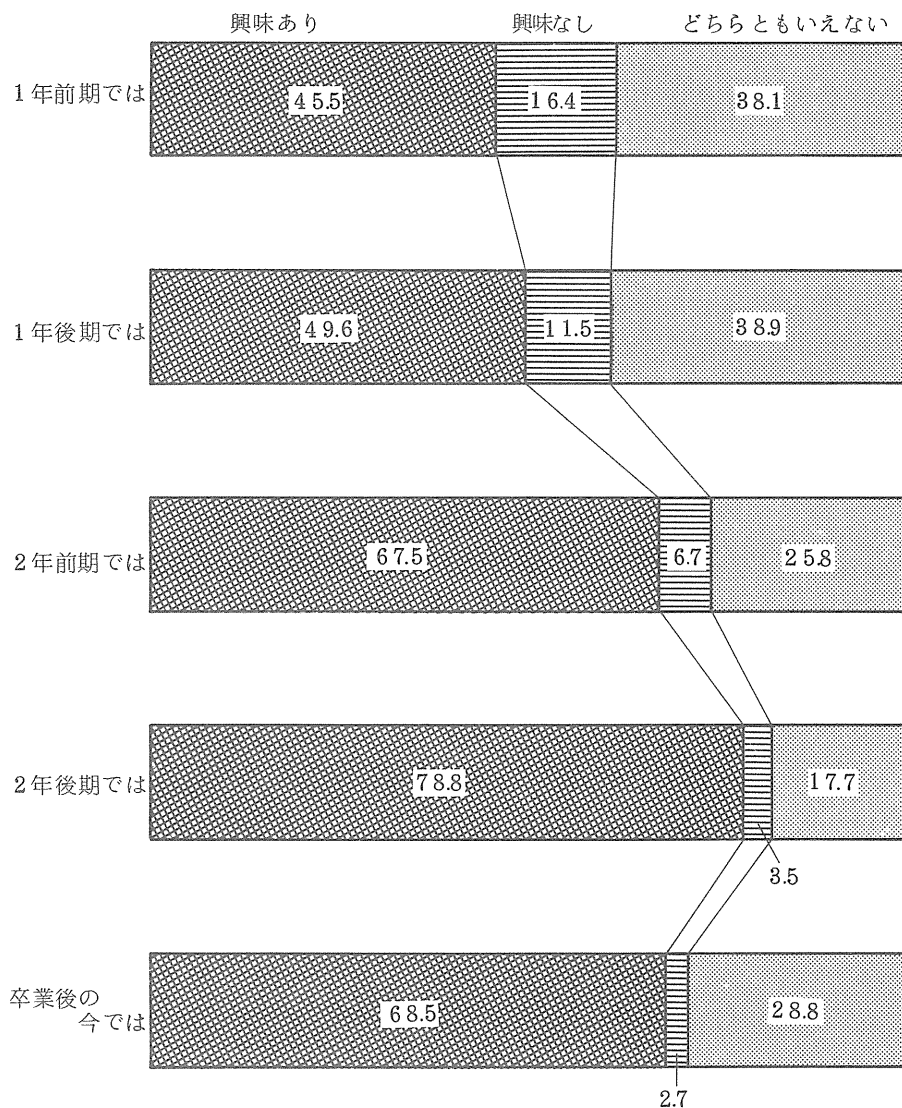


図12. あなたは人間関係科の学習に興味をもってとりくめましたか

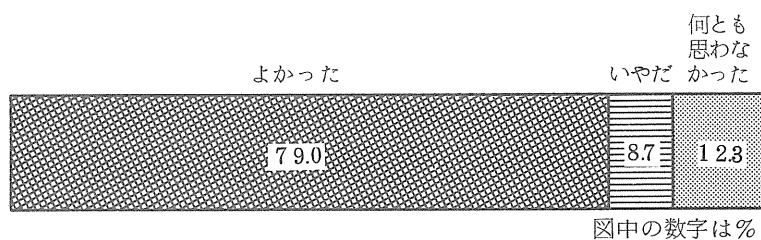


図13. 卒業するとき、どんな感じをもたれましたか



以上の問いに対する反応を林の数量化Ⅲ類を用いて分析した。林の数量化Ⅲ類は質的な変数群の各カテゴリーを個々のケースと同時に数量化し、それら进行分类するための基本的な軸を算出する方法である。今回のデータでは図6.~図13.に示したように、各反応カテゴリーの頻度に偏りがあるため、次のようにカテゴリーの再コード化を行ない、数量化Ⅲ類を用いて分析を行なった。

問い30.と問い32は、1.非常にあると2.ときどきある、3.たまにあると4.全くないをそれぞれ1つのカテゴリーにし、問い34は1.非常にあるはそのまま、2.ややあると3.あまりないと4.全くないの3つの反応を1つのカテゴリーとして扱った。問い40は1.がんばりたいと2.よきそだと、3.いやだと4.なんとかなるだろうをそれぞれ1つのカテゴリーとし、問い41. 問い42は1.1年前期と2.1年後期、3.2年前期と4.2年後期をそれぞれ1年次、2年次の各カテゴリーとして扱い5.卒業してからと6.今も持っていないはそのまま1つのカテゴリーとして用いた。問い43.はいずれの質問も1.興味ありとそれ以外(2.興味なし 3.どちらともいえない)の2つのカテゴリーとして扱った。問い44.は1.よかったを1つのカテゴリーとし、2.いやだったと3.何とも思わなかったを1つのカテゴリーとして扱った。

結果と解釈 図14.は数量化Ⅲ類による各カテゴリーに対する得点を2次元に図示したものである。

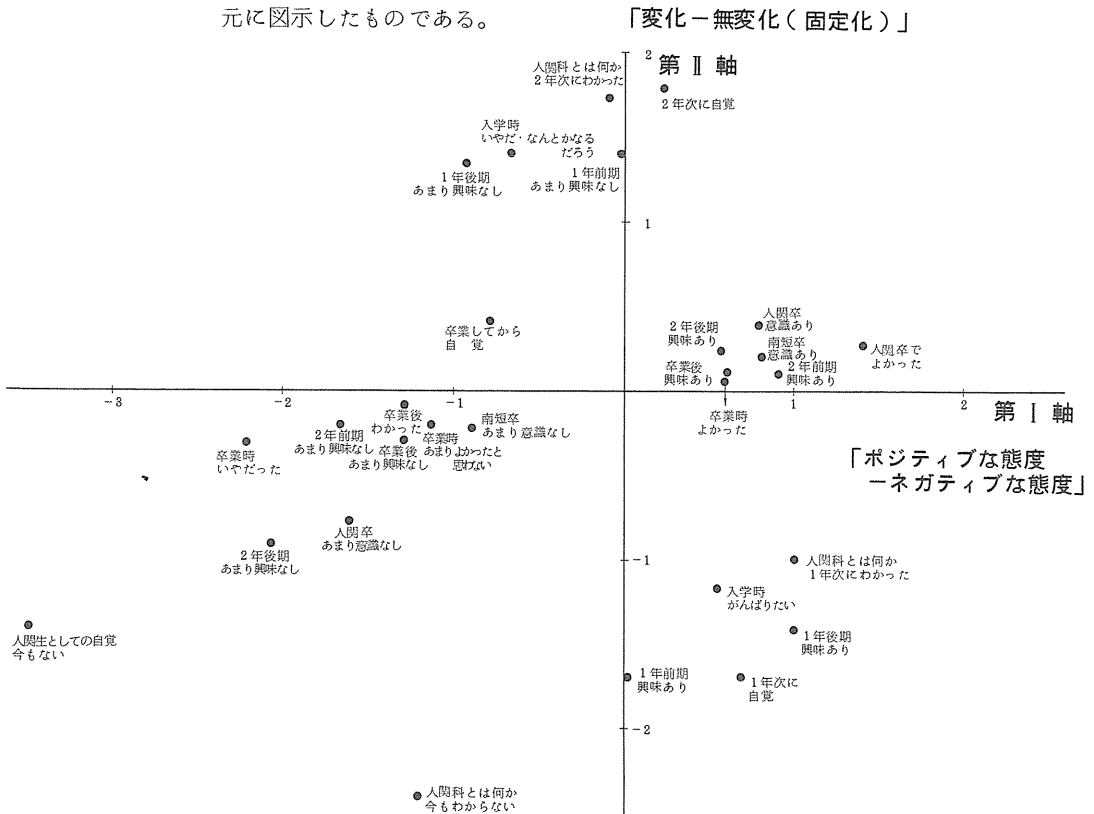


図14. 数量化Ⅲ類による各カテゴリーの2次元空間への布置

第Ⅰ軸は、「人間関係科卒業でよかった」「人間関係科とは何かをわかりはじめたのが1年次」「1年後期、2年後期に人間関係科の学習に興味を持つ」「南山短期大学及び人間関係科卒業生であることを非常に意識する」などのカテゴリーがあり、一方の極に「人間関係科生としての自覚を今も持っていない」「卒業時にいやだと思ったり、または何とも思わなかった」「2年前期、後期と人間関係科の学習に特に興味がなかった」「人間関係科の卒業生だという意識は特にない」といったカテゴリーがある。それゆえ、この軸は人間関係科に積極的にコミットするかどうかといった人間関係科に対する「ポジティブな態度ーネガティブな態度」として解釈されるだろう。

第Ⅱ軸は、一方の極に「人間関係科生として自覚を2年次に持った」「人間関係科とは何かを2年次にわかりはじめた」「人間関係科に入学するときに、いやだと思ったり、なんとかなるだろうと思った」「2年前期、後期では人間関係科の学習に興味を持ってとりくめた」などのカテゴリーがあり、もう一つの極には「人間関係科とは何か今もわからない」「人間関係科生として自覚を持ちはじめたのは1年次」「1年前期に人間関係科の学習に興味を持ってとりくめた」「人間関係科生としての自覚を今も持っていない」「1年後期に人間関係科の学習に興味を持ってとりくめた」などがある。この軸は解釈が非常に難しいが、正の極に入学時には人間関係科で学ぼうとする意志はあまりないが2年次において人間関係科で学ぶことに関心を抱き、ここで学ぼうとする変化を示している。しかし、一方の極は現在も人間関係科が何かよくわからなかったり、1年次の最初から人間関係科で学ぶことを決定しているといったように初めに持つ意志が固定化し、変化しない状態を示しているように思われる。そこで、「変化ー無変化（固定化）」と命名する。

以上より、人間関係科に対する4つの反応パターンが見いだされる。すなわち、第Ⅰ象限にある2年次に人間関係科で学ぶことを決定し、人間関係科にポジティブな態度を持つパターンと、第Ⅱ象限の2年次に人間関係科でやろうとすることは理解するがいま一つ人間関係科にポジティブな態度は持てないパターンと、第Ⅲ象限の人間関係科が何かよくわからないまま人間関係科にポジティブな態度を持てないパターンと、第Ⅳ象限の比較的最初から人間関係科で学ぼうとして人間関係科にポジティブな態度を持つパターンである。

そこで、各軸ごとにケース得点を算出し、各期生ごとに平均値を同じ2次元空間にプロットしたのが図15である。それによると、第Ⅰ象限に5、6期生が、第Ⅱ象限に3期生が、第Ⅲ象限に1、2、4期生が、第Ⅳ象限に7、8期生が位置している。

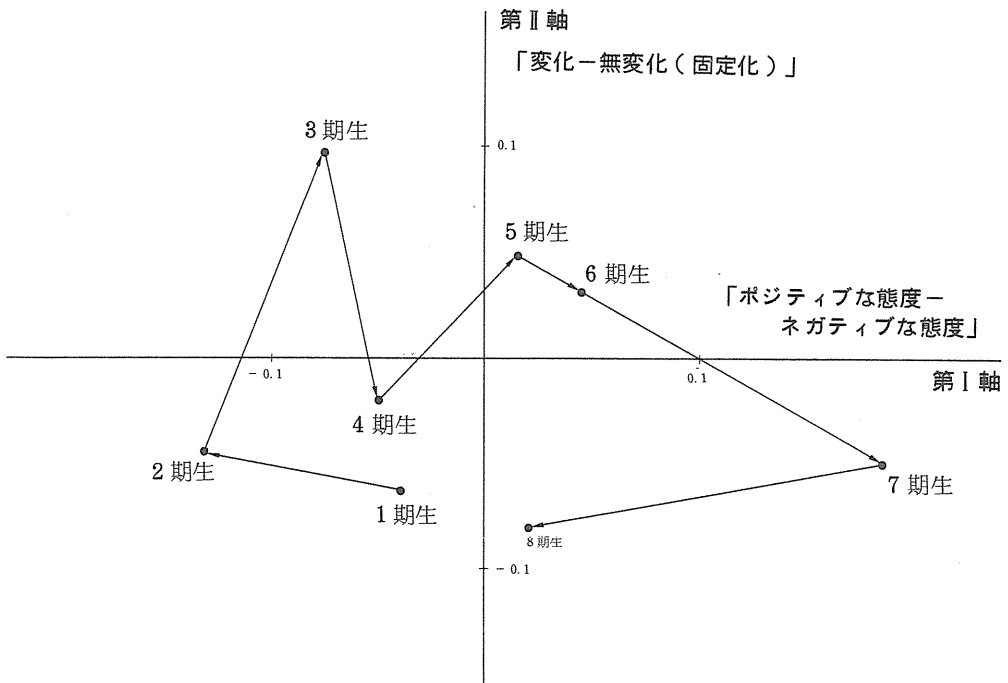


図 15. 各期生ごとのケース得点の平均値の布置

全般的には、人間関係科に対する態度は1～4期生より5～8期生がポジティブな態度を持っていると言える。このことは、人間関係科の教育が学生たちに今日受け入れられてきていることを示している。

各期ごとにもう少し詳しく見てみると、創設期時代の1期生、2期生は第Ⅲ象限の人間関係科が何かよくわからないまま人間関係科へのポジティブな態度が形成されなかったパターンに位置している。このことは、従来にない大学を創設しようとし、さらには学習方法として多くは社会人を対象とするラボラトリー学習から導入された「体験学習」を用いる教育を日本において初めて試みようとする時の混沌とした時代を表わしているように思われる。すなわち、初期の頃は学生にとっても教員にとっても人間関係科を創り上げていこうとするスタートであり、まさに人間関係科とは何かを学生と教員とが探っている時代と呼んでもよいのではなかろうか。3期生は、第Ⅱ象限の2年次において人間関係科で学ぼうすることは理解するがいま一つ人間関係科に対してポジティブな態度が持てないパターンに位置している。私自身3期生とともに過ごす時は持てなかったが、何か2年次に学生たちが人間関係科とはこれだと思えるチャンスに出会ったものと推測される。しかし、人間関係科にポジティブな態度を形成するまでには至らなかったのであろう。

4期生は、第Ⅲ象限に位置し、もう一度混沌の時代に戻るようである。何故4期生がここに位置するのかはさらに詳しく検討を加える必要があるだろう。

5期生、6期生は、第Ⅰ象限の2年次に人間関係科で学ぶことが明確になり、人間関係科へのポジティブな態度を持つパターンである。この時期には創設から4年が経過し、それまでの経験が生かされ、教員と学生と共に人間関係科で何をどのようにすることが望ましいかを明確にしていた時期ではなかろうか。この時には、私も人間関係科の教育に参加しており、一部の授業しか見ていないが学生から授業への不満等様々なフィード・バックがなされ、私的感覚を含め、学生と共に人間関係科の授業を考えた一時代であったという実感が今も残っている。

7期生、8期生は、第Ⅳ象限に位置している。7期生と8期生とでは同じ象限の中でも遠い位置にありその違いは興味深いものである。どちらもともに比較的入学初期に人間関係科で学ぶことを理解するが、7期生よりも8期生の方が人間関係科に対するポジティブな態度を明確に形成するには至らなかったようである。このことは、最近人間関係科のスタッフの中でよく言われる“わかりのよさ”を反映しているように思われる。すなわち、今日の南山短期大学の入学試験の難しさにともないいわゆる知的レベルの向上とともにすばやく「人間関係科」を理解し、その枠の中で無難に2年間を過ごしていていると考えるのは余りにも早計すぎるだろうか。

本報告では、卒業生への追跡調査のデータの一部を用いて、1期生から8期生までの人間関係科へのコミットの仕方などについての変化を概略的・数量的に促らえることに焦点をあててみた。また、調査データは8期生までのものであり、その後の学生が人間関係科の教育をどのように受けとっているかを調べてみる必要があるだろう。

しかし、このように卒業生の反応から人間関係科の教育実践をかえりみることはとても興味深いことである。本報告において見いだした各期生の反応パターンの変化をより多くの視点（教育プログラムの変化、入学してくる学生の変化、大学教育に適用される「体験学習」の意味づけ、教員の教育観の変化等）から、再吟味してみることは、とても大切なことであろう。



## 付 表 基 礎 集 計 表

( )内の数字は%

問3 その仕事は、定職ですか、アルバイトですか。

1. 定 職	2. アルバイト(パート)
123	16
(88.5)	(11.5)

問7 今の仕事に満足していますか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 非常に満足	2	0	0	1	0	3	3	2	11 (7.9)
2. やや満足	4	2	12	4	15	17	13	17	84 (60.4)
3. あまり満足していない	0	0	4	6	7	9	6	8	40 (28.8)
4. 全く満足していない	0	0	0	0	0	1	1	2	4 (2.9)

問8 仕事をやめたいと思ったことがありますか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. よくある	0	0	2	3	2	8	3	5	23 (16.7)
2. ときどきある	4	2	10	7	15	17	15	14	84 (60.9)
3. 全くない	2	0	4	1	5	5	5	9	31 (22.5)

問9 これから今の職場をどれくらいつづけたいですか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. すぐにでもやめたい	0	0	1	0	1	3	3	2	10 (7.2)
2. 結婚するまでつづけたい	0	0	4	3	8	17	12	13	57 (41.4)
3. 出産までつづけたい	2	1	4	1	4	2	2	7	23 (16.7)
4. ずっとつづけたい	3	1	3	2	2	1	4	2	18 (13.0)
5. その他	1	0	4	5	7	6	2	5	30 (21.7)

問11 あなたは、現在の仕事につく前に、ほかに勤めたり、自分で事業をしりしたことがありますか。

1. な い	2. 1回だけある	3. 2回以上ある
109	26	3
(79.0)	(18.8)	(2.2)

問12 以前の仕事をやめになった理由にもっともあてはまるものに○印をつけて下さい。

1. 結婚 するため	2. 出産 のため	3. 上司 との関係 がうまく いかない	4. 同僚 との関係 がうまく いかない	5. 異性 問題の トラブル	6. 仕事 がおもし ろくない	7. 労働 条件が 悪いから	8. 学業 のため	9. 新し い場で 自分を試 すため	10. その他
7 (23.3)	1 (3.3)	2 (6.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (6.7)	4 (13.3)	0 (0.0)	4 (13.3)	10 (33.3)

<勤めていない人……問13から問19まで>

問13 卒業後、勤めたことがありますか。

1. はい	2. いいえ
71 (81.6)	16 (18.4)

問14 何年勤めましたか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 1年未満	0	1	0	1	1	0	0	0	3 (4.2)
2. 1年以上2年未満	2	2	3	0	1	0	0	0	8 (11.3)
3. 2年以上3年未満	1	8	3	3	5	3	0	0	23 (32.4)
4. 3年以上4年未満	5	1	7	5	6	0	0	0	24 (33.8)
5. 4年以上5年未満	2	1	6	1	0	0	0	0	10 (14.1)
6. 5年以上6年未満	0	1	2	0	0	0	0	0	3 (4.2)
7. 6年以上7年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
8. 7年以上8年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
9. 8年以上9年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)

問17 おやめになった理由に、もっともあてはまるものに○印をつけて下さい。

1. 結婚 するため	2. 出産 のため	3. 上司 との関係 がうまく いかない	4. 同僚 との関係 がうまく いかない	5. 異性 問題の トラブル	6. 仕事 がおもしろ くない	7. 労働 条件が 悪いから	8. 学業 のため	9. 新し い場で自 分を試す	10. その他
47 (69.1)	3 (4.4)	1 (1.5)	1 (1.5)	0 (0.0)	2 (2.9)	1 (1.5)	2 (2.9)	4 (5.9)	7 (10.3)

問 18 機会があれば再就職を希望していますか。

1. はい	2. いいえ
37 (52.9)	33 (47.1)

〈問 13 で「いいえ」の人〉

問 19 何故つとめなかったのですか。

1. 進学のため	2. 就職難のため	3. 結婚のため	4. 家族がつとめなくてもよいといったから	5. その他
2 (8.7)	0 (0.0)	9 (39.1)	4 (17.4)	8 (34.8)

問 26 今の家庭での生活に満足していますか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 非常に満足	7	6	14	5	8	11	6	10	67 (29.7)
2. やや満足	12	12	21	11	19	17	14	15	121 (53.8)
3. あまり満足していない	0	1	5	5	8	5	4	7	35 (15.6)
4. 全く満足していない	0	0	0	1	0	0	1	0	2 (0.9)

問 30 南山短期大学卒業生だと意識したことがありますか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 非常にある	4	3	6	1	4	2	6	5	31 (13.7)
2. ときどきある	3	5	9	15	16	17	7	14	86 (38.1)
3. たまにある	11	11	23	6	14	11	12	11	99 (43.8)
4. 全くない	1	0	2	0	1	3	0	3	10 (4.4)

問 31 どんな時に、南山短期大学卒業生だと意識しますか。

1. 結婚する時	2. 就職の時	3. 職場で	4. その他
11 (6.5)	43 (25.6)	59 (35.1)	55 (32.7)

問 32 人間関係科卒業生だと意識したことがありますか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 非常にある	4	3	6	2	9	8	8	10	50 (22.3)
2. ときどきある	5	7	16	14	16	18	11	14	101 (45.1)
3. たまにある	9	7	15	5	10	6	5	8	65 (29.0)
4. 全くない	1	1	3	1	0	1	0	1	8 (3.6)

問 33 それは、どんな時ですか。

1. 結婚する時	2. 就職の時	3. 職場で	4. その他
3	22	83	67
(1.7)	(12.6)	(47.4)	(38.3)

問 34 人間関係科卒業で、よかったと思うことはありますか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 非常にある	8	7	14	6	15	20	14	17	101 (45.1)
2. ややある	8	9	19	13	18	11	10	14	102 (45.5)
3. あまりない	3	2	5	2	2	2	1	2	19 (8.5)
4. 全くない	0	0	2	0	0	0	0	0	2 (0.9)

問 35 受験するとき、どのようにして人間関係科を知りましたか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 高校の進路相談の先生から	8	8	15	7	9	9	9	7	72 (31.9)
2. 友達から	0	1	4	5	4	4	2	9	29 (12.8)
3. 大学展等で	0	0	1	2	0	0	2	3	8 (3.5)
4. 受験雑誌で	7	8	15	6	14	11	11	13	85 (37.6)
5. 新聞で	4	0	2	0	1	1	0	0	8 (3.5)
6. その他	1	2	3	3	7	9	3	3	31 (13.7)



問 37 人間関係科以外にいくつ受験しましたか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 1 校	1	1	12	1	9	6	9	1	40 (19.5)
2. 2 校	6	6	10	5	9	6	4	4	50 (24.4)
3. 3 校	5	2	5	5	8	10	3	7	45 (22.0)
4. 4 校	0	1	4	4	3	4	0	13	29 (14.1)
5. 5 校	1	0	1	4	0	0	1	2	9 (4.4)
6. 6 校	0	0	0	0	1	0	0	0	1 (0.5)
7. 7 校	0	0	0	0	0	0	0	1	1 (0.5)
8. 8校以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
9. ここだけ	1	7	3	3	2	5	6	3	30 (14.6)

問 38 その時の人間関係科は、第何志望でしたか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 第1希望	9	8	11	4	11	9	11	9	72 (33.2)
2. 第2希望	5	5	15	9	9	10	12	17	82 (37.8)
3. 第3希望	3	2	8	6	8	8	2	3	40 (18.4)
4. それ以下	1	1	4	1	7	5	0	4	23 (10.6)

問 40 人間関係科に入学して最初どのように思われましたか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. がんばりたい	2	7	8	6	8	6	7	11	55 (24.3)
2. よさそうだ	8	6	14	6	8	11	10	8	71 (31.5)
3. いやだ	4	0	7	4	8	2	1	7	33 (14.6)
4. なんとかなるだろう	5	6	11	6	11	14	7	7	67 (29.6)

問 41 人間関係科とは何かを、わかりはじめたのは、いつ頃ですか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 1 年 前 期	1	2	2	2	1	0	0	0	8 ( 3.6 )
2. 1 年 後 期	5	4	9	6	10	11	14	12	71 (31.8)
3. 2 年 前 期	5	3	11	6	8	7	5	8	53 (23.8)
4. 2 年 後 期	2	3	8	3	4	7	4	4	35 (15.7)
5. 卒業してから	5	6	4	1	5	4	0	2	27 (12.1)
6. 今もわからない	1	1	5	4	6	4	2	6	29 (13.0)

問 42 人間関係科生としての自覚を持ちはじめたのは、いつ頃ですか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 1 年 前 期	2	3	2	2	3	0	2	5	19 ( 8.5 )
2. 1 年 後 期	8	2	11	8	8	11	9	12	69 (30.8)
3. 2 年 前 期	1	4	11	6	10	11	6	6	55 (24.6)
4. 2 年 後 期	2	2	9	1	5	5	6	5	35 (15.6)
5. 卒業してから	5	5	3	2	7	4	2	2	30 (13.4)
6. 今も持ってない	1	3	4	3	1	2	0	2	16 ( 7.1 )

問 43 人間関係科生時代、2年間の授業を通じて、あなたは人間関係科の学習に興味をもってと  
りくめましたか。

1年前期では

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 興 味 あ り	8	10	10	10	17	16	15	17	103 (45.5)
2. 興 味 な し	1	1	4	6	8	6	4	7	37 (16.4)
3. どちらともいえない	10	8	26	6	10	11	6	9	86 (38.1)

1年後期では

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 興味あり	11	8	17	9	15	19	14	19	112 (49.6)
2. 興味なし	0	1	3	5	5	4	4	4	26 (11.5)
3. どちらともいえない	8	10	20	8	15	10	7	10	88 (38.9)

2年前期では

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 興味あり	12	13	26	16	26	20	19	20	152 (67.5)
2. 興味なし	1	1	0	3	0	4	1	5	15 (6.7)
3. どちらともいえない	6	5	14	3	8	9	5	8	58 (25.8)

2年後期では

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 興味あり	14	16	34	16	27	26	20	25	178 (78.8)
2. 興味なし	0	0	0	1	1	3	0	3	8 (3.5)
3. どちらともいえない	5	3	6	5	7	4	5	5	40 (17.7)

卒業後の今では

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. 興味あり	16	12	24	12	24	27	17	20	152 (68.5)
2. 興味なし	0	2	0	1	1	0	0	2	6 (2.7)
3. どちらともいえない	3	5	14	9	9	6	8	10	64 (28.8)

問44 卒業するとき、どんな感じをもたれましたか。

項目 \ 期	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
1. よかった	17	12	35	15	26	21	23	24	178 (79.0)
2. いやだった	0	2	1	2	3	7	0	4	19 (8.7)
3. 何とも思わなかった	2	4	4	3	2	5	2	5	27 (12.3)

問45 卒業時に感じたことを以下の項目の中から5つ選択して○印をつけ、さらにその5つの中でもっとも感じたことに

◎印を1つつけて下さい。

- |                      |   |
|----------------------|---|
| 1. やりがいがあった。         | 11. 苦痛だった。                                  |
| 2. 他の科では得られないものがあった。 | 12. よかったけれど、他の科に入ったらもっと違った自分があつたのではないかと思った。 |
| 3. 無駄だった。            | 13. 最後まで人間にとけこめなかった。                        |
| 4. 学歴をとるためだけに通っていた。  | 14. 就職のために居るだけだった。                          |
| 5. よく学んだ。            | 15. 先生を身近に感じるようになった。                        |
| 6. クラブが楽しかった。        | 16. 強制されて何かをするのがいやだった。                      |
| 7. 学校をやめればよかった。      | 17. 親友ができた。                                 |
| 8. 学生の身分でいるだけでよかった。  | 18. その他( )                                  |
| 9. 本音が言える点がよかった。     |   |
| 10. 合宿が楽しかった。        |   |

期 項目	1		2		3		4		5		6		7		8		Total	
	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位
1	0.26 S.D. 0.45	6	0.26 0.45	7	0.20 0.41	7	0.45 0.60	5	0.31 0.47	8	0.30 0.53	7	0.20 0.41	8	0.42 0.56	5	0.30 0.49	7
2	1.32 S.D. 0.67	1	1.52 0.61	1	1.28 0.64	1	1.36 0.66	1	1.37 0.69	1	1.18 0.68	1	1.52 0.51	1	1.42 0.61	1	1.36 0.64	1
3	0.00 S.D. 0.00	16	0.00 0.00	15	0.00 0.00	16	0.05 0.21	14	0.00 0.00	17	0.00 0.00	16	0.00 0.00	16	0.00 0.00	17	0.00 0.07	18
4	0.11 S.D. 0.46	10	0.16 0.50	10	0.00 0.00	16	0.00 0.00	15	0.03 0.17	14	0.09 0.29	15	0.00 0.00	16	0.03 0.17	15	0.04 0.25	16
5	0.05 S.D. 0.23	13	0.16 0.37	10	0.13 0.40	10	0.27 0.55	9	0.03 0.12	14	0.12 0.42	12	0.12 0.33	11	0.06 0.24	14	0.11 0.35	14
6	0.21 S.D. 0.42	7	0.11 0.32	13	0.18 0.38	8	0.05 0.21	14	0.14 0.36	13	0.24 0.44	9	0.32 0.56	7	0.36 0.70	7	0.20 0.46	9
7	0.00 S.D. 0.00	16	0.00 0.00	15	0.03 0.16	15	0.05 0.21	14	0.00 0.00	17	0.00 0.00	16	0.00 0.00	16	0.00 0.00	17	0.01 0.09	17
8	0.11 S.D. 0.32	10	0.05 0.23	14	0.13 0.33	14	0.14 0.35	13	0.23 0.49	11	0.21 0.48	10	0.20 0.50	8	0.36 0.49	7	0.19 0.43	10
9	0.68 S.D. 0.58	4	0.63 0.50	4	0.38 0.49	6	0.23 0.43	10	0.34 0.48	6	0.51 0.50	5	0.52 0.71	5	0.27 0.45	11	0.42 0.53	5
10	0.84 S.D. 0.76	2	0.79 0.63	2	0.55 0.55	4	0.50 0.60	4	0.57 0.50	3	0.67 0.60	3	0.56 0.65	3	0.48 0.51	4	0.60 0.59	4
11	0.05 S.D. 0.23	13	0.0 0.0	15	0.10 0.30	12	0.31 0.57	8	0.26 0.50	9	0.21 0.54	10	0.08 0.28	14	0.24 0.44	12	0.17 0.42	12
12	0.21 S.D. 0.42	7	0.37 0.68	6	0.40 0.67	5	0.55 0.67	3	0.26 0.44	9	0.30 0.59	7	0.52 0.51	5	0.51 0.67	3	0.39 0.60	6
13	0.05 S.D. 0.23	13	0.21 0.42	8	0.08 0.27	13	0.18 0.50	12	0.57 0.24	3	0.12 0.33	12	0.12 0.33	11	0.12 0.33	13	0.11 0.33	14
14	0.00 S.D. 0.00	16	0.00 0.00	15	0.00 0.00	16	0.00 0.00	15	0.03 0.17	14	0.00 0.00	16	0.04 0.20	15	0.03 0.17	15	0.13 0.11	13
15	0.68 S.D. 0.67	4	0.68 0.48	3	0.33 0.50	3	0.64 0.73	2	0.57 0.50	3	0.73 0.67	2	0.60 0.50	2	0.39 0.50	6	0.64 0.57	3
16	0.11 S.D. 0.32	10	0.21 0.42	8	0.13 0.33	10	0.32 0.48	7	0.23 0.43	11	0.12 0.33	12	0.16 0.37	10	0.30 0.47	9	0.19 0.40	11
17	0.74 S.D. 0.65	3	0.58 0.61	5	0.90 0.81	2	0.36 0.58	6	1.06 0.73	2	0.48 0.57	6	0.56 0.71	3	0.52 0.67	2	0.68 0.71	2
18	0.21 S.D. 0.42	7	0.16 0.37	10	0.15 0.43	9	0.23 0.53	10	0.34 0.68	6	0.55 0.79	4	0.12 0.44	11	0.30 0.59	9	0.27 0.58	8

※ 各セルの値は○印に1点、◎印に2点と得点化し、その平均・標準偏差をもとめたものである。

問48 人と接するときあなたが心がけていることで、以下の事項であてはまるものに5つ○印を、その中で特に心がけていることに◎印を1つつけて下さい。

1. 自分のまぢがったところを素直にうけいれる。
2. どんな人とでも気軽に話せるようにする。
3. 表面だけのつきあいはしないようにしている。
4. 集団の中でも、自分は自分である。
5. 自分の感じたことを率直にいいあえるような関係をつくりたい。
6. 感情的になりすぎないこと。
7. 自分をどんどん見せる。
8. 自分の立場を、その時々で正確に把握する。
9. いつも自分が何を考えているのかわかるようになりたい。
10. どんなタイプの人でも受け入れる。
11. そこに自分がいるだけで雰囲気なごむような関係をつくりたい。
12. 人の気持を自分の気持のようにわかってあげたい。
13. 相手の話しをまずきいて、それから自分の気もちを伝える。
14. 人を第一印象できめつけないこと。
15. わかっている人すべてがいやな思いをしないようにする。
16. 何事も楽しければよい。
17. 特になし。
18. その他

期 項目	1		2		3		4		5		6		7		8		Total	
	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位
1	0.21 S.D. 0.42	12	0.53 0.61	4	0.50 0.64	5	0.64 0.73	2	0.51 0.61	3	0.42 0.56	6	0.68 0.63	2	0.64 0.55	2	0.52 0.61	3
2	0.89 S.D. 0.57	1	0.34 0.60	8	0.58 0.59	3	0.55 0.51	3	0.51 0.51	3	0.23 0.45	13	0.48 0.51	5	0.30 0.47	11	0.48 0.54	5
3	0.00 S.D. 0.00	16	0.16 0.37	13	0.05 0.22	15	0.46 0.21	5	0.20 0.47	13	0.12 0.33	15	0.16 0.55	13	0.12 0.41	14	0.11 0.37	15
4	0.32 S.D. 0.67	9	0.26 0.45	9	0.43 0.68	7	0.32 0.47	9	0.46 0.66	5	0.48 0.76	4	0.52 0.77	4	0.36 0.60	9	0.40 0.65	6
5	0.84 S.D. 0.69	2	0.84 0.88	1	0.72 0.68	1	0.77 0.75	1	1.03 0.79	1	0.82 0.73	1	0.80 0.82	1	0.67 0.78	1	0.81 0.75	1
6	0.32 S.D. 0.48	9	0.47 0.77	6	0.35 0.53	9	0.45 0.67	6	0.29 0.57	9	0.27 0.45	10	0.32 0.56	11	0.39 0.61	8	0.35 0.57	10
7	0.11 S.D. 0.32	13	0.05 0.23	15	0.08 0.16	16	0.18 0.50	15	0.29 0.57	9	0.06 0.24	17	0.16 0.47	12	0.09 0.29	15	0.12 0.38	14
8	0.79 S.D. 0.79	3	0.74 0.65	2	0.53 0.64	4	0.41 0.59	7	0.34 0.54	6	0.55 0.62	3	0.36 0.57	7	0.58 0.61	3	0.52 0.63	3
9	0.47 S.D. 0.77	4	0.26 0.45	9	0.50 0.72	5	0.41 0.59	7	0.34 0.64	6	0.36 0.65	7	0.36 0.57	7	0.30 0.53	11	0.38 0.62	8
10	0.37 S.D. 0.50	8	0.21 0.54	12	0.15 0.43	13	0.32 0.65	9	0.20 0.47	13	0.27 0.52	10	0.12 0.33	14	0.24 0.50	13	0.23 0.49	13
11	0.26 S.D. 0.56	11	0.11 0.32	14	0.20 0.46	12	0.55 0.67	3	0.20 0.47	13	0.33 0.54	9	0.36 0.70	7	0.33 0.60	10	0.29 0.55	11
12	0.47 S.D. 0.70	4	0.47 0.61	6	0.60 0.78	2	0.27 0.46	12	0.57 0.61	2	0.67 0.69	2	0.64 0.70	3	0.55 0.75	4	0.55 0.68	2
13	0.47 S.D. 0.61	4	0.53 0.70	4	0.33 0.47	11	0.27 0.55	12	0.23 0.49	12	0.48 0.62	4	0.40 0.50	6	0.39 0.66	7	0.38 0.57	8
14	0.42 S.D. 0.60	7	0.68 0.75	3	0.38 0.59	8	0.27 0.55	12	0.34 0.54	6	0.36 0.65	7	0.36 0.57	7	0.42 0.61	6	0.39 0.60	7
15	0.11 S.D. 0.32	13	0.26 0.45	9	0.23 0.48	10	0.32 0.65	9	0.26 0.51	11	0.24 0.61	12	0.20 0.41	12	0.45 0.71	5	0.27 0.54	12
16	0.05 S.D. 0.23	15	0.00 0.00	16	0.00 0.00	17	0.05 0.21	17	0.05 0.24	17	0.15 0.44	14	0.12 0.33	14	0.06 0.24	16	0.06 0.26	16
17	0.00 S.D. 0.00	16	0.00 0.00	16	0.08 0.27	14	0.18 0.50	15	0.00 0.00	18	0.00 0.00	18	0.00 0.00	16	0.00 0.00	18	0.03 0.20	18
18	0.00 S.D. 0.00	16	0.05 0.23	15	0.00 0.00	17	0.00 0.00	18	0.14 0.49	16	0.09 0.29	16	0.00 0.00	16	0.06 0.24	16	0.05 0.25	17

※ 各セルの値は○印に1点、◎印に2点と得点化し、その平均・標準偏差をもとめたものである。

問 49 スタッフから影響をうけたと思うことで、以下の事項であてはまるものに5つ○印を、その中で特に影響をうけたと思うことに◎印を1つ付けて下さい。

- |                                 |                                      |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 日々人間成長をめざす姿勢をもちつづけることを教わった。  | 8. 安易に片付けず、よく考察するよう心がけるようになった。       |
| 2. 相手をうけいれてみようと思うようになった。        | 9. 自分をごまかすことができなくなった。                |
| 3. スタッフの助言で自分の考えがしっかりかたまった。     | 10. 自分と関わっている人のことを一生懸命わかってもらうようになった。 |
| 4. 自分の意見を言わないでおくことがなくなった。       | 11. 先生に対する既成概念がとりはらわれた。              |
| 5. 自分をわくにしばりつけないことのすばらしさを教えられた。 | 12. こちらが働きかければ、必ず何かかえてくるということがわかった。  |
| 6. 自分の中に目を向けることを教わった。           | 13. 影響なし                             |
| 7. 何事もいつも一生懸命やるよう心がけることを教わった。   | 14. その他                              |

項目	1		2		3		4		5		6		7		8		Total	
	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位		
1	0.32 0.58	9	0.58 0.69	6	0.55 0.71	3	0.78 0.88	2	0.43 0.65	5	0.33 0.54	8	0.56 0.65	3	0.39 0.61	7	0.48 0.67	7
2	0.68 0.75	3	0.53 0.61	7	0.48 0.60	4	0.73 0.83	2	0.77 0.65	3	0.67 0.65	4	0.56 0.58	3	0.67 0.60	4	0.63 0.65	3
3	0.00 0.00	13	0.05 0.23	11	0.08 0.35	10	0.14 0.35	12	0.14 0.36	12	0.15 0.44	11	0.08 0.28	12	0.30 0.64	9	0.13 0.40	12
4	0.32 0.58	9	0.26 0.45	10	0.18 0.45	9	0.23 0.61	10	0.23 0.49	9	0.27 0.52	9	0.16 0.37	11	0.15 0.44	11	0.22 0.48	11
5	0.32 0.58	9	0.26 0.45	10	0.45 0.64	5	0.36 0.49	7	0.40 0.55	7	0.73 0.72	2	0.40 0.65	8	0.76 0.71	2	0.49 0.63	6
6	1.00 0.58	1	1.05 0.78	1	0.73 0.68	1	0.77 0.61	1	0.97 0.71	2	0.81 0.77	1	1.04 0.79	1	0.94 0.75	1	0.90 0.71	1
7	0.42 0.69	6	0.32 0.58	8	0.40 0.55	6	0.27 0.55	9	0.17 0.38	11	0.27 0.52	9	0.28 0.61	10	0.12 0.42	12	0.27 0.53	10
8	0.37 0.60	7	0.63 0.68	2	0.25 0.44	8	0.23 0.43	10	0.23 0.43	9	0.06 0.24	12	0.36 0.49	9	0.36 0.49	8	0.29 0.48	9
9	0.53 0.61	5	0.32 0.58	8	0.40 0.63	6	0.32 0.48	8	0.43 0.61	5	0.48 0.51	7	0.52 0.65	5	0.58 0.66	5	0.45 0.60	8
10	0.63 0.60	4	0.63 0.68	2	0.60 0.63	2	0.64 0.58	4	0.34 0.48	8	0.45 0.56	6	0.44 0.58	7	0.70 0.68	3	0.54 0.60	4
11	0.79 0.71	2	0.42 0.51	5	0.55 0.71	3	0.54 0.60	5	0.48 0.61	4	0.54 0.71	5	0.52 0.59	5	0.30 0.53	9	0.51 0.63	5
12	0.37 0.60	7	0.63 0.68	2	0.60 0.67	2	0.45 0.60	6	1.03 0.79	1	0.73 0.76	2	0.64 0.76	2	0.52 0.57	6	0.65 0.70	2
13	0.00 0.00	13	0.05 0.23	11	0.05 0.22	11	0.09 0.29	13	0.00 0.00	14	0.03 0.17	14	0.08 0.40	12	0.00 0.00	14	0.04 0.21	14
14	0.05 0.23	12	0.05 0.23	11	0.05 0.32	11	0.00 0.00	14	0.09 0.37	13	0.06 0.24	12	0.04 0.20	14	0.03 0.17	13	0.05 0.25	13

※ 各セルの値は○印に1点、◎印に2点を得点化し、その平均・標準偏差をもとめたものである。

問50 以下の項目は現在の人間生の予備調査からのものです。あなたの考えをスケールに印して下さい。

1. 人間関係科は英語科に対して閉鎖的である。
2. 人間関係に対して、他の人よりすぐれていなくてはならない。
3. 人間関係科は特殊な科である。
4. 人間関係科でやっていることは実用性がない。
5. 授業に対する意欲がみられない。
6. 人間関係科という社会があって、その中ではみんな同じ立場にあり、失敗も許されるので気楽にふるまえる。
7. 実習したことの知識的うらづけが理解されていない。
8. 人間関係科全体の仲間意識が強い。
9. スタッフのつながりが強い。
10. 自分をはっきりうち出さないと存在する場がなくなる。
11. 時間にルーズである。

項目	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
1	33 (14.7)	58 (25.8)	38 (16.9)	96 (42.7)
2	6 (2.7)	53 (23.9)	58 (26.1)	105 (47.3)
3	92 (41.6)	79 (35.7)	21 (9.5)	29 (13.1)
4	2 (0.9)	43 (19.5)	72 (32.6)	104 (47.1)
5	6 (2.7)	59 (26.6)	92 (41.4)	65 (29.3)
6	76 (34.1)	87 (39.0)	49 (22.0)	11 (4.9)
7	53 (24.0)	112 (50.7)	52 (23.5)	4 (1.8)
8	100 (45.2)	91 (41.2)	19 (8.6)	11 (5.0)
9	98 (44.1)	100 (45.0)	19 (8.6)	5 (2.3)
10	59 (26.3)	100 (44.6)	50 (22.3)	15 (6.7)
11	71 (32.4)	83 (37.9)	44 (20.1)	21 (9.6)

問52 「グループ活動中での自分の動き，他者の動き，グループメンバー間の影響関係，コミュニケーション，グループのノーム（規範），雰囲気などのグループ・プロセス」について  
 ・このグループ・プロセスを学んだことは，社会に出てどのように活かされていますか。

活かされているか \ 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に活かされている	2	3	0	2	2	3	1	2	15 (7.2)
まあ活かされている	7	9	19	7	20	17	12	12	103 (49.3)
どちらともいえない	1	2	8	4	6	6	3	8	38 (18.2)
あまり活かされていない	6	2	6	5	2	7	7	8	43 (20.6)
全く活かされていない	0	1	3	2	2	0	0	2	10 (4.8)

・このグループ・プロセスを学ぶことは社会でどのくらい必要ですか。

必要か \ 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に必要	5	6	11	2	10	10	4	12	60 (30.2)
まあ必要	8	9	14	9	11	16	15	13	95 (47.7)
どちらともいえない	0	0	7	4	5	5	3	3	27 (13.6)
あまり必要ない	3	1	3	4	2	0	1	2	16 (8.0)
全く必要ない	0	0	0	1	0	0	0	0	1 (0.5)

問53 「実習をしたり，経験をした後に，自分・他者・グループの動きについて考えてみるといったふりかえり」について

・このふりかえりをするのを学んだことは，社会に出てどのように活かされていますか。

活かされているか \ 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に活かされている	5	4	6	1	8	6	5	3	38 (18.1)
まあ活かされている	6	9	14	10	12	13	7	10	81 (38.6)
どちらともいえない	3	1	6	5	5	7	9	6	42 (20.0)
あまり活かされていない	2	2	7	4	6	6	2	7	36 (17.1)
全く活かされていない	1	2	2	2	0	1	1	4	13 (6.2)

・このふりかえりを学ぶことは社会に出てどのくらい必要だと思いますか。

必要か \ 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に必要	7	7	9	1	14	11	7	13	69 (32.5)
まあ必要	9	9	17	13	13	12	13	9	95 (44.8)
どちらともいえない	0	2	7	4	3	9	4	6	35 (16.5)
あまり必要ない	1	0	2	2	3	0	0	3	11 (5.2)
全く必要ない	0	0	0	1	0	1	0	0	2 (0.9)



問54 「グループで仕事をしている時、自分自身についての情報（態度・行動・感情の動きなどについて気づいたこと）を他者からもらったり、他者・グループについての情報を提供するというフィードバック」について

・このフィードバックを学んだことは、社会に出てどのように生かされていますか。

生かされているか \ 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に生かされている	3	3	3	2	7	3	5	3	29 (13.9)
まあ生かされている	4	6	17	5	16	9	6	8	71 (34.0)
どちらともいえない	4	6	11	7	5	10	5	5	58 (25.4)
あまり生かされていない	5	2	3	6	3	10	8	12	49 (23.4)
全く生かされていない	1	1	2	0	1	0	0	2	7 (3.3)

・このフィードバックを学ぶことは社会でどのくらい必要だと思いますか。

必要か \ 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に必要	7	6	7	6	14	11	7	10	68 (33.8)
まあ必要	6	8	17	7	11	11	7	14	81 (40.3)
どちらともいえない	2	3	6	6	5	9	7	5	43 (21.4)
あまり必要ない	2	0	1	0	2	0	2	1	8 (4.0)
全く必要ない	0	0	0	0	0	0	0	1	1 (0.5)

問55 「人間での学習のとき強調された、それまでのことでなく、またその場以外の所で起ったことでなく、いまこの場で起っていることに目を向けるといった今ここで」について

・この今ここで学習を行なったことは社会に出てどのように生かされていますか。

生かされているか \ 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に生かされている	2	2	5	3	8	5	2	4	31 (15.1)
まあ生かされている	4	10	17	7	7	11	6	8	70 (34.1)
どちらともいえない	6	2	8	5	7	7	7	10	52 (25.4)
あまり生かされていない	5	1	3	3	8	10	6	6	42 (20.5)
全く生かされていない	0	2	2	1	2	0	1	2	10 (4.9)

・この今ここで学ぶことは社会でどのくらい必要だと思いますか。

必要か \ 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に必要	5	7	9	4	7	11	4	9	56 (28.3)
まあ必要	3	9	16	7	13	9	9	13	79 (39.9)
どちらともいえない	5	0	6	5	7	7	7	4	41 (20.7)
あまり必要ない	2	1	2	2	4	4	2	2	19 (9.6)
全く必要ない	1	0	0	0	0	0	1	1	3 (1.5)

問56 「自分たちが中心となる小グループ学習活動の中で、相互に援助し合いながら学習する」  
ことについて

・この相互に援助し合う小グループ学習で得たことは、社会に出てどのように活かされていますか。

生かされているか 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に活かされている	1	1	2	1	5	4	4	3	21 (10.5)
まあ活かされている	4	6	12	5	15	6	7	10	65 (32.5)
どちらともいえない	4	9	6	9	5	7	4	10	54 (27.0)
あまり活かされていない	4	1	10	5	3	13	5	4	45 (22.5)
全く活かされていない	1	1	3	0	4	0	2	4	15 (7.5)

・この小グループ学習は、社会でどのくらい必要だと思いますか。

必要か 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に必要	4	6	7	1	13	5	4	13	53 (27.9)
まあ必要	4	9	12	11	8	11	13	10	78 (41.1)
どちらともいえない	2	2	7	6	9	9	4	6	45 (23.7)
あまり必要ない	2	1	5	2	1	2	0	0	13 (6.8)
全く必要ない	0	0	0	0	1	0	0	0	1 (0.5)

問57 「一般化された知識のつめこみではなく、人間関係上の問題点を自分の手で発見し、分析し、変革を試み、理論化するといった体験学習」について

・この体験学習で得たことは、社会に出てどのように活かされていますか。

生かされているか 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に活かされている	4	5	6	2	10	8	3	7	45 (22.1)
まあ活かされている	6	6	13	7	12	15	5	11	75 (36.8)
どちらともいえない	2	3	10	7	3	5	7	3	40 (19.6)
あまり活かされていない	3	2	7	2	7	2	5	6	34 (16.7)
全く活かされていない	1	1	1	0	0	1	3	3	10 (4.9)

・この体験学習は、社会でどのくらい必要だと思いますか。

必要か 期生	1	2	3	4	5	6	7	8	Total
非常に必要	5	8	8	7	18	15	8	17	86 (43.4)
まあ必要	5	4	10	9	8	12	8	10	66 (33.3)
どちらともいえない	1	4	11	4	4	3	6	1	34 (17.2)
あまり必要ない	1	1	4	0	2	1	0	2	11 (5.6)
全く必要ない	0	0	0	0	0	0	1	0	1 (0.5)